

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		老人クラブ活動支援事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健全	所属部	健康福祉部
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実	所属課	高齢者支援課
	業務分野	25	高齢者の社会参加の促進	所属班	包括支援センター班 (内線) 1164
予算科目		会計一般	款 3 項 1 目 4 事業連番 10435	法令根拠	老人福祉法 合志市健康福祉補助金等交付要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市老人クラブ連合会(市老連)及び単位老人クラブ(単老ク)の活動事業に対する援助として補助金を交付する。また国は「老人クラブ活動等事業実施要綱」を定め、都道府県や市区町村を通して、老人クラブに対する公的な補助を行っている。この国及び県からの補助金の交付を受けるための事務を市が行っている。この補助は市老連および単老クに配分される。市老連は、単老ク会長研修等による情報交換、シルバーヘルパーの養成、各種スポーツ大会等による全体交流を実施するなど、単老の統括、育成をとおして老人福祉の増進を図っている。単老クは、社会奉仕活動、教養講座、健康増進事業等を実施し、高齢者の社会参加・健康づくりを促進している。合併時に市老連を組織したが、旧町単老の活動に差異(サロン活動の有無や会費・参加費等の負担の有無など)があることから旧町老連を市老連支部とした。統一することによる混乱が大きいと判断されたものである。役員のみ手がいない等の理由から活動を止める単老クがあった。また、高齢化にも関わらず老人クラブ会員数の伸びが鈍化(H28年度以降は減少)していることから、その増加を目標に活性化会議を行い、老人クラブの意識改革を促している。また、活性化事業の一環として平成29年度中より老人クラブ活性化にかかる提言書の作成を行うこととなり、委員会を立ち上げた。平成30年度に老人クラブ及び市への提言を行った。令和6年度に要望書(施設使用料の減免)が出されたことを契機に、単老クの活動の現状や取り組みなどを把握するためのアンケート調査を実施。
【業務の流れ】	【市補助金】①事業計画承認申請審査(補助金内示通知) ②補助金交付申請審査(補助金交付決定通知) ③補助金概算払申請審査(支払) ④補助事業実績報告審査(補助金交付確定通知・概算払精算手続き) 【その他】①老連総会への出席 ②シルバーヘルパー養成講座の講師 【県補助金】①補助金交付協議(補助金内示) ②補助金交付申請(補助金交付決定通知) ③補助金概算払申請(受領) ④実績報告(補助金交付確定通知)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

市老連及び単位老人クラブに補助金を交付し、老人クラブの活動を支援し、老人福祉の増進を行った。
 単位老人クラブ会員1,559人(前年度比:-228人)

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

老人クラブ活動支援の補助金交付。老人クラブ活動活性化に向けた協議を継続する予定。

③予算の主な増減の理由

単位老人クラブ会員数の減少による補助金の減

成果指標

老人クラブ会員数

{単位}

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
老人クラブ会員数	人	1,999	1,787	2,000	1,559	1,600	1,600	1,600	1,600
事業費	国庫支出金	千円				615	615	617	617
	都道府県支出金	千円	1,198	1,148	1,148	1,016	615	617	617
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,354	3,038	3,567	2,633	3,730	3,730	3,766
(A) 事業費計	千円	4,552	4,186	4,715	3,649	4,960	4,960	5,000	5,000

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

全国的に老人クラブの組織率(団体数・会員数の減少)は低下している。その要因として、若年層の加入がなく役員のみ手がいないことが挙げられる。ホームページで老人クラブへの加入促進をおこなうことに加え、広報等をおとして魅力ある活動を促し、会員がいきいきとした楽しむ老人クラブ活動にすべく、市老人クラブ連合会とともに老人クラブへの加入促進を呼びかけた。高齢者の社会参加や生きがいづくりは、地域の結びつきを高めるだけでなく、介護予防にもなっている。地域の中の見守り活動など実施されている事業も多く、補助の継続は必要。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)